

地域スポーツ人材を活用した運動部活動等推進事業

(379, 751千円)

22年度予算額 300, 574千円

現状

○教員数の減少や高齢化、練習・引率及び大会運営等による教員の負担増

➡ 中学校における部活動の指導者不足

○小学校では体育の指導内容が高度化し(高学年)、個に応じた指導も必要

➡ 子どもに関心・意欲を持たせる体育指導が困難な状況

○運動をよくする子どもと、そうでない子どもの二極化傾向があるとの指摘

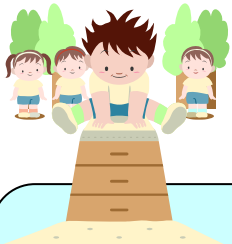
➡ 子どもの体力の低下傾向

○少子化や学校の小規模化の影響

➡ 1校では運動部活動の継続が困難

地域スポーツ人材(外部指導者)の活用

柔軟な部活動の形態や運営の実践



文部科学省

報告



委託



都道府県・指定都市教育委員会(66地域)

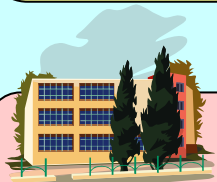
運動部活動等推進委員会

- ・地域スポーツ人材のリストへの登録促進及び人材確保
- ・指導に当たっての教育的配慮事項を中心とした講習会の開催

- ・運動部活動等の運営に関する地域住民からの意見の蓄積
- ・運動部活動等における問題解決のための体制づくり等



実践校の指定



実践校

- ・小学校高学年体育授業、中学校の運動部活動などにおける外部指導者の活用

- ・複数の種目に取組む総合運動部
- ・継続的な複数校合同運動部活動
- ・異学年合同、複数校合同の体育授業

運動部活動等の活性化、子どもの体力の向上